# 地域と大学第37号

Newsletter No.37, Education Center for Regional Development

# 地域創造教育センターの1年とこれから

理事・副学長、地域創造教育センター長 丹沢 哲郎

地域創造教育センターは昨年9月に設立され、この たび1周年を迎えることができました。学内の教職員 はもとより、地域や経済界、そして産業界等の方々に は、言葉で言い表せないほどの力添えをいただきまし た。改めて、この場を借りてお礼申し上げます。

本センターは、学部横断型の新しい教育プログラムである地域創造学環における教育活動の企画・立案と、イノベーション社会連携推進機構に置かれていた地域連携生涯学習部門の事業とを統合し、地域に関わることであれば何でもワンストップで対応できる組織を作ろうということで設立されたものでした。これを分かりやすく表現するなら、学生たちがお世話になる地域との交渉窓口(地域が大学教育のお手伝い)と、地域社会に対して大学が貢献するための事業実施窓口(大学が地域に貢献)という向きの異なる二つのベクトルを、1箇所で対応できるよう組織統合したということになります。

前者に関わる地域創造学環では、県内12の地域で行政や各種団体の協力を得て、商店街の活性化や街づくりの課題にフィールドワーク科目として取り組んでおり、学生たちは1つの地域の課題解決に3年間関わり続けています。また後者については、地域からの課題公募に基づく「地域課題解決支援プロジェクト」や、大学教員がゼミ等を活用しながら地域支援を行う「地域連携応援プロジェクト」、市民大学開放事業などといった従来の取り組みに加え、本年度はリカレント教育の一環として、新たに「地域づくりリーダー等育成・研修事業」の企画を検討しています。これは、地域連携に関する十分な知識とスキルを身につけ、連携活動

を中心的に推進できる 優れた人材を、大学と の連携先であるカウン ターパート側に確保し、 その成果を高めていく ことを目標としていま す。

静岡大学は、地域貢献・地域人材育成を重要な課題として掲げて



おり、これまでの上記の取り組みに加え、過日は、地域活性化の中核拠点形成のために4つの到達指標を国に届け出ました。それは、初等・中等学校の児童・生徒の育成支援、高大接続改革、地域連携事業拡大、そして地域人材育成授業科目におけるオンライン化の4つです。3番目の地域連携事業拡大については、もちろんのこと地域創造教育センターが中核的な役割を果たすことを期待されています。一方、最後のオンライン授業化も、社会人が学びやすい環境を構築するための重要な施策であり、社会人教育を推進する立場の地域創造教育センターが果たす役割は大きいと考えています。

新しく設立した組織というものは、時間経過と共に 設立時の情熱が失われがちです。今一度その理念を想 起し、センターとして新たな事業開発に今後とも取り 組んでいく所存です。関係の皆様には、今後とも変わ らぬご支援をいただけると幸いです。

# 2018年度静岡大学公開講座

静岡大学では、地域社会に対し広く学習の機会を提供することを目的として、1978(昭和53)年より公開講座を実施しています。

今年度の公開講座は、下の表のとおり、4月から翌年3月にかけて多彩な17講座をお送りしています。それぞれの専門分野を活かした、特色ある講座となって

います。

静岡と浜松にキャンパスをもつ静岡大学の特徴を生かし、静岡キャンパス、浜松キャンパス、農学部附属地域フィールド科学教育研究センター藤枝フィールドで開講します。学外では静岡県男女共同参画センターあざれあなどが会場となっています。

講座名	講師	日時	会場	対象	定員	受講料	主催
藤枝フィールドの散策と春の雑 草観察	農学部教授・稲垣栄洋	4/26(木)13:00~16:00	農学部附属 地域フィールド 科学教育研究 センター藤枝 フィールド	どなたでも (小学生 以下は保護者同伴)	30	無料	農
私のミカン〜ミカンの通年管理 教室〜 [全5回]	技術部技術専門職員 · 成瀬博規 技術部技術職員 · 周藤美希 農学部准教授 · 八幡昌紀	5/8、7/3、9/18、11/13、 3/5(火)13:30~15:30	農学部附属 地域フィールド 科学教育研究 センター藤枝 フィールド	一般市民	10	10,000	技
安心登山・アウトドア活動のための読図とナヴィゲーションスキル (初級編)	教育学部教授・村越 真 プロアドベンチャーレーサー・宮内佐季子	5/19(土)9:30~16:30	静岡キャンパス 及び屋外	登山・アウトドア活動 を行う一般市民	25	3,000	教
地歌筝曲入門 [全4回]	教育学部准教授・長谷川 慎 地歌筝曲演奏家・日吉章吾	6/6·20、7/4·18(水) 19:00~21:00	静岡キャンパス	一般市民、学校教員 (小・中・高等学校)	20	無料	教
学って楽しい~大学で学ぼう~ 【連続講座】[全3回]	文京学院大学客員教授・松為信雄 NPO法人 GreenWork理事長・松矢勝弘	6/17、10/21、12/16 (日)9:30~11:30	静岡キャンパス	知的障害のある方お よびその保護者	100	無料	教
紅茶作りに挑戦しよう	農学部教授・稲垣栄洋 技術部技術専門職員・西川浩二 技術部技術専門職員・成瀬和子	7/26(木)13:00~16:00	農学部附属 地域フィールド 科学教育研究 センター藤枝 フィールド	一般市民(小学生 以下は保護者同伴)	20	1,000	技
作って学ぶ、工学部の化学実験	工学部教授・植田一正 技術部技術専門職員・草薙弘樹	7/26(木)または7/28 (土)いずれも14:00~ 17:00	浜松キャンパス	中学生·高校生(保 護者同伴可)	20	無料	I
遺伝子の世界を見てみよう [全2回]	グリーン科学技術研究所准教授・道羅英夫 グリーン科学技術研究所特任助教・兼崎 友 技術部技術職員・森内良太	8/1(水)10:00~17:00、 8/2(木)10:00~15:00	静岡キャンパス	県内高校生	20	無料	グ
体験!大学の化学実験[全2回]	グリーン科学技術研究所教授・近藤 満理学部講師・守谷 誠	8/18(土)·19(日) 10:00~16:00	静岡キャンパス	中学生・高校生(保 護者の同伴可能)、 理科教育の関係者	30	無料	グ
中高生のための心理学入門	人文社会科学部教授・笠井 仁 人文社会科学部教授・橋本 剛 人文社会科学部教授・幸田るみ子	8/21(火)9:30~12:30	静岡キャンパス	中学生・高校生	120	無料	
愛おしさから読み解くくだものの 多様性~園芸と民藝の融合~ [全2回]	青パパイヤ生産者・高田義雄 農学部准教授・松本和浩	8/31、11/30(金) 14:00~16:30	健康文化交流 館「来・て・こ」	くだものの栽培、利用、 消費に興味があり、多 様な遺伝資源を使って 地域を活性化したい、 あるいはコミュニケー ションを活発化したい と考えている市民、学 生、生産者、企業人 など	50	無料	農

講座名	講師	日時	会場	対象	定員	受講料	主催
静岡大学キャンパスミュージアム公 開講座 2018 [全5回]	理学部准教授・徳岡 徹 理学部准教授・石橋秀巳 人文社会科学部教授・篠原和大 技術部技術長・宮澤俊義 ふじのくに地球環境史ミュージアム・岸本年郎	10/13・20・27、11/3 (土)10:00~12:00 11/3のみ10:00~ 12:00、13:00~15:00	静岡キャンパス	一般市民、学生、 小中高生(中学生 以下は保護者同伴)	15	無料	#
安心登山・アウトドア活動のための読図とナヴィゲーションスキル (中級編)	教育学部教授・村越 真 オリエンテーリング日本代表選手・小泉 成行	10/7(日)9:30~16:30	屋外(静岡市郊外)	過去に初級編を受講 した方、又は地形図 の基礎知識がある登 山経験者で6-7 km程 度を無理なく歩ける 方	20	3,600	教
市民社会と法 [全5回]	法務研究科特任教授・中村和夫 地域法実務実践センター教授・板倉美 奈子 地域法実務実践センター教授・朱 嘩 法務研究科教授・根元 猛 法務研究科教授・吉川真理	10/13、11/10、12/8、 1/26、2/9(土)13:30~ 15:30	アイセル21 (静岡市葵生涯学習センター)	一般市民	30	無料	$\triangle$
学って楽しい~大学で学ぼう~ 【公開講演会】	文京学院大学客員教授・松為信雄	10/21(日)13:00~ 15:00	静岡キャンパス	一般市民	100	無料	教
サンティアゴ巡礼を学ぶ・楽しむ~スペイン、フランス、メキシコのカミーノ~	立命館大学准教授・田辺加惠 人文社会科学部准教授・大原志麻 専修大学教授・井上幸孝 人文社会科学部教授・花方寿行 人文社会科学部教授・今野喜和人	11/3(土)10:00~16:00	あざれあ(静岡県男女共同参画センター)	一般市民	100	無料	$\triangle$
暮らしを支える情報活用の最前線	情報学部教授·杉山岳弘 情報学部准教授·遊橋裕泰 情報学部助教·石川翔吾 情報学部教授·湯浦克彦	11/10(土)10:25~ 12:00	浜松キャンパス	興味のある方ならど なたでも	70	無料	情

# [主催欄凡例]

| 人 = 人文社会科学部 | 教 = 教育学部 | 情 = 情報学部 | 工 = 工学部 | 農 = 農学部 | キ = キャンパスミュージアム

グーグリーン科学技術研究所 技 = 技術部



体験!大学の化学実験



中高生のための心理学入門



作って学ぶ、工学部の化学実験



サンティアゴ巡礼を学ぶ・楽しむ~スペイン、フランス、メキシコのカミーノ~

# 地域創造学環部門の上半期(4月~9月)事業報告

### 地域創造学環とは

静岡大学地域創造学環とは、2016年4月にスタート した従来の学部の枠組みを越えた新しい全学学士課程 横断型教育プログラムです。静岡大学のすべての学部 (人文社会科学部、教育学部、情報学部、理学部、工

学部、農学部)の授業を履修することができます。幅 広い教養と高い専門知識を身につけながら、積極的に 地域(フィールド)に飛び出し、より魅力的な地域社 会の創造に取り組むことができる人材を育成します。

## フィールドワークの取り組み

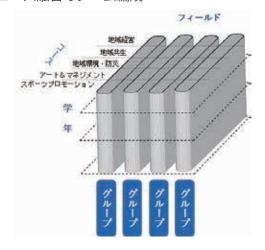
地域創造学環のフィールドワークの特徴は、地域に 密着した体制により、地域の実情と課題に正面から対 峙し、単年度ではなく、地域と中長期的に関わり、信 頼関係を醸成することです。

そのため、異なる分野を学ぶ学生が一緒に、複数年 度で取り組めるよう、コース、入学年という枠にこだ わらないグループ編成としています。

### ・フィールドワークの年次別到達点設定



### ・コース融合のチーム編成



### 2018年度前学期のフィールド

2018年度前学期は13フィールドで、地域の方々と|解決のための提案や実践を行いました(各フィールド 交流しながら地域の課題や資源を発見・探求し、課題 のテーマは下表参照)。

フィールド	テーマ		
静岡市 清水港周辺地域	浜田・清水地区の情報発信とおもてなしによる交流・活動人口の増加		
静岡市 庵原地区	地域資源を活かしたスポーツと食による「健康長寿のまちづくり」		
静岡市 東静岡駅前	アートとスポーツによるにぎわい創出		
静岡市 駒形通四丁目商店街	駒形通四丁目商店街のにぎわい創出		
静岡市 浅間通り商店街	浅間通り商店街のにぎわい創出		
焼津市 浜通り	町並み保存と観光資源化ー浜通り活性化フォーラムを母体とした地域再生の実践ー		
浜松市 浜松文芸館 (公益財団法人 浜松市文化振興財団)	若者の文芸離れを食い止めよう		
浜松市 佐久間町	中山間地域の地域再生実践		
田園空間博物館 南遠州とうもんの里	産地直売運営と交流人口拡大		
松崎町	①なまこ壁が残る松崎町商店街のにぎわい創出 ②防災と観光の両立		
東伊豆町	新しい観光スタイルの発掘・創出プロジェクト		
伊豆半島ジオパーク	ユネスコ世界ジオパークにおける環境保全・防災啓発・教育方法の開発		
県営団地	県営住宅団地における居場所づくりと地域福祉資源のネットワーキング		

# フィールドワークでの取り組みの紹介(4フィールド)

### ■ 静岡市 東静岡駅前

「東静岡アート&スポーツ/ヒロバ」はローラースポーツ施設や、アート作品や様々なイベントに親しめる芝生広場を有し、人々の交流を生み、地域の活性化とにぎわいの創出に繋がる場となることが期待されています。

フィールドワークでは、2017年度は、地域の聞き取り調査や文化的イベントのリサーチを通し、ワークショップを企画、実施しました。

現在は、ニュースポーツとアートを繋いだワークショップの企画をするとともに、地域を巻き込んだニュースポーツの体験会の企画・開催と、施設や道具の有効活用に関するシステムの構築を目指し、活動しています。



ニュースポーツの体験会の様子



アート&スポーツ/ヒロバでの展示の 様子

# ■ 浜松市 浜松文芸館(公益財団法人浜松市文化振興財団)

浜松文芸館は、浜松市出身の俳人・作家らの功績を 市民に伝え、市民の趣味・教養の向上を図る文化施設 です。しかし、近年の「活字離れ」の中で、若者たち の関心は決して高くありません。浜松文芸館の魅力を 若者たちに伝えるにはどうすればいいのか。浜松文芸 館のフィールドワークでは、この課題に取り組んでき ました。

2017年度は、初めにアンケート調査を実施し、その結果を踏まえて新しいポスターとチラシを作成しました。

2018年度は、高校生を対象とした「GOGO俳句」(合作俳句)や小学生を対象とした「文字モジ探検隊」(物

語創作)などのイベントを企画・運営した。こうした活動を通して当館の活性化を図りながら、浜松文芸館と地域の若者を繋ぐ活動を進めています。



文芸館でのイベントの様子

### ■ 焼津市 浜通り

漁業の町焼津市の基礎を築いたと言われる浜通り地区。フィールドワークでは町並み保全とにぎわい創出を目指し行政と住民が連携する「浜通り活性化フォーラム」に参加し浜通り地区の再生について議論したり、「あかり展」に参加し来場者アンケートを実施するなどの活動に取り組んでいます。

更に、商店街活性化等の先進地視察を行ったり、焼 津市全体の現状と課題を把握したり、市内高校生とも 意見交換をしながら今後の焼津市のあり方を考え、浜 通りの活動にフィードバックすることを試みる活動も 始めており、視野を広げながらミクロとマクロの視点 を持ってフィールドワークを実施しています。



あかり展での行灯展示



焼津水産高校でのワークショップ

# ■県営団地

超高齢化社会の中で高齢者の孤立死などが問題となっており、居場所づくりが課題となっています。現在、静岡県社会福祉協議会では、自治会・町内会などの地元住民や市町の社協と協力し、居場所づくりに取り組んでおり、その中から、いくつかの先進地域も見られるようになっています。ただし、比較的居場所づくりに成功している団地でも、さらに多くの住民に開かれたものにするという課題が存在し、また、居場所づくりが困難な団地もあります。

フィールドワークでは、2017年度に、先進的な取り 組みを行う団地に聞き取り調査を行いました。

2年目となる2018年度は静岡市清水区の吉川団地で

地域の活動に参加しながら、課題を発見・分析し、住民と共に解決の糸口を探っています。



静岡市清水区 吉川団地

# 2017年度地域創造学環フィールドワーク報告会

2018年5月31日、静岡県男女共同参画センターあざ れあ大ホールで、2017年度に静岡県下13箇所で実施 したフィールドワークの活動報告会を行いました。

2017年度後学期から新1年生が加わり、2学年の学 生が共同して、15のテーマを設定したフィールドワー クに取り組みました。多くのフィールドが2年目の活 動となり、より具体的な地域課題の把握や解決に向け て取り組む様子が紹介されるとともに、活動初年度と なるフィールドにおいては、フィールドの状況を把握 する試みや地域との関係づくりに着手する様子が報告 されました。

会場には、学生を受け入れていただいている各 フィールドの皆様をはじめ、多くの一般の方の来場が あり、発表後の質疑応答の際には、活動のアドバイス や応援のお言葉をいただくなど、地域と学生の一体感 のある報告会となりました。



佐久間町フィールドの学生発表

### 株式会社清水銀行との連携授業「地域創造特論Ⅱ |

2017年度に引き続き、株式会社清水銀行の全面協力 を得て「地域創造特論II」を開講しました。当授業では、 4月から7月まで全15回の講義を清水銀行の役職員が 担当し、静岡県経済、静岡県内企業の動向や、地方創 生との関連で取り組んでいる事業支援についての講義 を行いました。また、「観光による地方創生」を題材に、 アクティブラーニングを取り入れた実践型の講義を行 いました。



最終授業での清水銀行常務取締役 野々山茂氏の講話



「観光による地方創生」を題材としたこ

### 静岡ロータリークラブとの教育連携講座「地域創造インターンシップ [ ]

フィールドワークが「地域」を対象とするのに対し、 インターンシップは企業という「組織」を対象に学び の場を設定しています。地域創造学環の2年生を対象 とするインターンシップは、静岡ロータリークラブと の教育連携講座として2017年度から始まり、2018年 度も会員企業の皆様に学生を受け入れていただき実習 が行われました。インターンシップでは事前学習、実 習、事後学習の3つの段階を設定し、特に、事前学習 では社会人に求められるリーダーシップ、チームワー ク、コミュニケーション、チャレンジの4つの事項を 確認・理解するため、主に企業の皆様を講師とした6 回の講義を行い、そうした学習の成果をもって、企業 での具体的な実習に取り組むことができました。

今年度は、2年生32名を25社の企業で受け入れて いただき、8月から9月にかけて実習が行われました。 その成果は各自がレポートにまとめ、10月18日にポ スターセッション形式で成果報告会を行いました。優 秀者3名は11月5日の静岡ロータリークラブ例会で会 員企業の皆様の前で発表を行いました。



成果報告会での学生発表



静岡ロータリークラブ例会にて、優秀者 3名は発表を行い、優秀賞が授与されま

# 地域連携室の上半期事業報告

### 地域連携室の設置

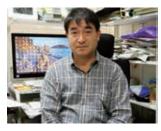
2017年10月に静岡大学では、地域社会との教育連携の中核的役割を担い、地域志向を持った人材を育成するとともに、教育研究を通じて地域社会が抱える課題解決に寄与することにより地域社会の発展に貢献することを目的に、全学横断型教育プログラム「地域創造学環」とイノベーション社会連携推進機構内に設置されていた「地域連携生涯学習部門」を統合のうえ、地域創造教育センターを立ち上げました。同センターは、「地域創造学環」の運営を中心とした「地域創造学環部門」と、大学開放事業等、教育研究を通じた地域連携を推進する事業を展開する「地域人材育成・プロジェクト部門」に加え、地域社会との連携に関わる学内外の連絡・調整窓口となる「地域連携室」の1室2部門で構成されています。

従来、県内諸地域からの様々な地域連携に関する要望については、大学の各部局が個別に対応していたために部局間での情報共有が図れず、本来なら大学全体として見れば対応可能な場合であっても、当該部局で受けられない場合には断ってしまうケースも多々見られました。そこで、地域から寄せられた地域連携に関するニーズを全学で一元的に整理・集約し、対応可能な全学の学部・センター等にも情報を流し、適切な対応をする効率的な体制を整備するため、地域連携の全学窓口としての「地域連携室」を発足させ、そこに2名の担当教員を配置することで、地域社会の期待に応えられるよう仕組みを整えました。

なお、「地域連携室」が発足した2017年10月から 2018年9月までの1年間の相談件数(電話、メール、 代理者からの連絡等)は28件寄せられ、相談元は自 治体が多く12件、金融機関から3件、教育機関から2件、その他企業や個人(学生・保護者等)等からの依頼がありました。また、相談内容としては、商品開発(研究支援)が6件、学生のボランティア募集(学生の意見聴取等の企画を含む)5件、講師派遣依頼が3件、連携に関する意見交換2件などがありました。最初の半年間(10月~3月)に寄せられた相談は7件あり、その後の半年間(4月~9月)では21件と3倍に増加していることから、地域連携室の存在が徐々に地域に浸透してきたものと思われます。

今後も、地域社会に対し「地域連携室」の存在を積極的に周知していく中で、更に効率的に情報を集約・公開する体制づくりを進め、大学として地域社会に貢献する姿勢を示していく次第です。

# 地域連携室スタッフあいさつ

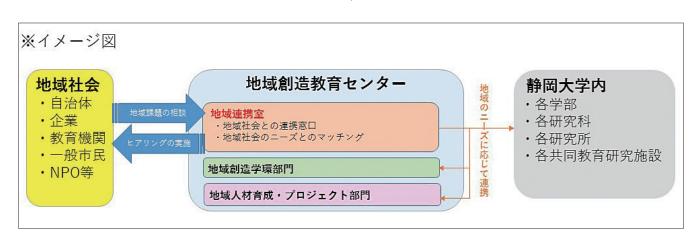


阿部耕也(地域連携室長/ 地域創造教育センター教授) 「地域で抱えている課題等 ありましたら、遠慮なくご 相談ください。」



皆田 潔(地域創造教育センター准教授)

「地域社会と大学の架け橋となり、安心して暮らし続けることができる地域づくりを応援します。」



# 地域人材育成・プロジェクト部門の上半期事業報告

### 地域連携応援プロジェクト

2011年度より「地域連携応援プロジェクト」として、 本学学生・教職員が主体となり、すでに地域団体や自 治体等と協働で取り組んでいる、または、新たに取り 組もうとする地域の活性化につながる活動を学内で公 募し、支援しています。2018年度は21件の応募があり、│書を刊行し、学内外に広く配布する予定です。

うち14件を採択しました。

これらの取り組みにより、学生・教職員の主体的な 地域連携活動が促進され、より地域と連携した静岡大 学になることを期待しています。年度末には成果報告

# 採択したプロジェクト一覧

部局	代表者	プロジェクト名
人文社会科学部	小二田 誠二	音楽と朗読による地域遺産の継承
教育学部	池田 恵子	グローバル化する静岡〜子どもたちと実践する国際交流学習〜
教育学部	小林 朋子	子どものレジリエンス (精神的回復力) を育てる教材作成および実践
教育学部	塩田 真吾	静岡県内の情報系NPO法人・静岡県中部県民生活センターと連携した「高齢者のネット被害防止」プロジェクト
教育学部	髙橋 智子	小児科外来における治療・療育環境改善プロジェクト〜安心・想像・つながり・笑顔が生まれるコトづくり〜
教育学部	竹下 温子	お茶のまち静岡市に新たな風を!~若い世代が提案する課題解決策の実現化へ向けた取り組み~
理学部	徳岡 徹	大学と地域が共に伊豆の自然環境を楽しむプロジェクト
工学部	立岡 浩一	浜松市と大学との連携事業~大学生による講座~
情報学部	杉山 岳弘	浜松市北区三ヶ日町における観光活性化のためのワークショップ事業
情報学部	田中 宏和	小学生へのプログラミング教育支援事業
情報学部	田村 敏広	絵本読み聞かせ会による地域活性化と絵本の可能性発見プロジェクト
地域創造学環	井原 麗奈	旧マッケンジー住宅の顕彰事業
地域創造学環・ 防災総合センター	岩田 孝仁	地域住民および大学関係者に向けた防災・減災啓発活動
教職センター	山本 隆太	消費者教育でつなぐ伊豆半島ジオパークSDGs推進プロジェクト

今年度上半期に取り組んだ各プロジェクトの実施状 況を報告します。

# 大学と地域が共に伊豆の自然環境を楽しむ プロジェクト

### ●自然観察会@伊豆市湯ヶ島地区

静岡大学理学部・天城フィールドセミナーハウスを 発着点として、湯ヶ島地区鉢窪山に登りながら多様な 植物を観察し、その進化について考えました。

· 日時: 2018年7月29日(日) 9:00~12:00

•参加費:無料 ・参加者数:14人 ・協力:湯ヶ島地区地域づくり協議会

# ●「夏休みの宿題」応援企画 植物のかたちを観察し てみよう

天城山の豊かな自然環境を利用して、夏休みの自由 研究にピッタリの植物観察講座を企画・開催しました。 小中学生に限らず、大人の方にも楽しめる講座となり ました。

- ・日時:2018年8月20日(月)9:00~12:30
- プログラム:

[講座1]「いろいろな植物の葉脈標本を作ってみよう」 [講座2]「植物標本(さく葉標本)を作ってみよう」

参加費:無料参加者数:12人

・会場:伊豆市役所 天城湯ヶ島支所

· 主催: 静岡大学理学部 · 植物系統分類学研究室

・協力:湯ヶ島地区地域づくり協議会

# 小児科外来における治療・療育環境改善プロジェクト

●ライブペイント (壁画制作)・ワークショップ@しずおか日赤まつり

毎年恒例の「しずおか日赤まつり」に参加して、小 児科お手洗いの内壁に壁画を描いたり、2017年度地域 連携応援プロジェクトで作成した小児科外来壁画に関 連したアートカードで遊ぶワークショップを行いまし た。

· 日時: 2018年9月8日(土) 13:10~16:00

•参加費:無料

•会場:静岡赤十字病院2号館 小児科外来

# 地域課題解決支援プロジェクト

地域の課題を公募し、解決支援を試みる「地域課題 解決支援プロジェクト」も6年目に入りました。

今年度上半期に取り組んだ課題の進捗状況について 報告します。

# 松崎町

# 「高校生と大学生との交流会」開催

松崎町からの地域課題提案を受け、地域創造学環の 最初のフィールドワーク地の一つとなり、現在も活発 な活動が展開しています。2月には、地元松崎高校の 生徒との交流会を開き、学環生が自らの学生生活につ いて高校生に伝えながら、高校生とともに松崎町・伊 豆半島のこれからを話し合いました。



松崎高校との交流

# 東伊豆町

### 「「空き店舗活用イベント」への参画

東伊豆町からの地域課題提案をきっかけに2017年度から地域創造学環のフィールドワークが開始されました。地域おこし協力隊・荒武優希さんを中心にNPO法人ローカルデザインネットワーク(LDN)にフィールドワークを担当いただき、現在7人の学環生

が取り組んでいます。

7月7日は、フィールドワークの一環として空き店舗を活用した「ハーバリウムワークショップ」を開催し、小学生から東伊豆町長まで幅広い年代の方々が参加しました。

「伊豆稲取空き店舗調査ワークショップ」(8月15~17日開催)や「空き店舗活用イベント・雛フェス説明会」(9月8日開催)にも、学環生、静大FC、学生ボランティアなど様々な立場の静大生が参加し、2019年3月に開催する「空き店舗活用イベント・雛フェス」本番に向けて取り組みを進めています。



\_\_\_ ハーバリウムワークショップの様子



雛フェス説明会でのフューチャーセッション

# 静岡大学創立60周年記念事業を継承した連携講座

# 1 静岡大学・読売新聞連続市民講座「どんな時代だったのか~平成の静岡」

回	開催日	タイトル	講師	参加者
1	6/30 (土)	減災から防災社会へ~想像力の欠如に陥らない防災を~	岩田孝仁(静岡大学地域創造学環・防災総合センター教授)	124
2	8/4 (土)	静岡の大地が語る言葉を読み解く 〜世界遺産・富士山と伊豆半島ジオパーク〜	小山真人(静岡大学地域創造学環・教育学 部教授)	166
3	9/1 (土)	平成の大合併・地方版総合戦略と静岡県自治体	西原 純 (静岡大学名誉教授)	132
4	10/6 (土)	静岡発の次世代テレビジョンをつくる!	川人祥二(静岡大学電子工学研究所教授)	108
5	11/17(土)	人口減少社会の処方箋 〜女性の活躍とは?男女共同参画を考える〜	跡部千慧(静岡大学男女共同参画推進室助教)	111

■会 場:あざれあ(静岡県男女共同参画センター)6階大ホール

■参加費:無料

■連携先:読売新聞東京本社静岡支局

# 2 静岡大学・中日新聞連携講座「静岡大学の現在」

	開催日	タイトル	講師	参加者
1	9/11 (火)	ナノフォトニクス最前線 ~レーザーが拓くナノテクノロジー~	川田善正(静岡大学工学部長)	76
2	10/9 (火)	カイコは素晴らしいバイオファクトリー	朴 龍洙 (静岡大学グリーン科学技術研究所長)	68
3	11/13(火)	海底堆積物からの贈り物、メタン! 〜基礎研究から社会実装まで〜	木村浩之(静岡大学グリーン科学技術研究所・理学部教授)	63
4	12/11(火)	人工知能が拡げる農業の可能性	峰野博史(静岡大学情報学部教授)	_
5	1/22 (火)	コンピュータは言語を操れるか 〜自然言語処理による知的システム構築の挑戦〜	狩野芳伸(静岡大学情報学部准教授)	_

■会 場:静岡大学浜松キャンパス 附属図書館浜松分館 (S-Port) 3階大会議室

■参加費:無料

■連携先:中日新聞東海本社

### 主催事業

# 静岡大学地域連携報告会 「学生が関わった域学連携の取り組み」

静岡大学は昨年「地域志向大学」宣言をし、地域の 皆様との連携・協働をこれまで以上に推進していくた め、県内各地で展開する大学-地域連携の取り組みを 紹介しました。

・日時:2018年8月4日(土)12:00~13:30

・会場:静岡県男女共同参画センター(あざれあ)

・プログラム:

①「ICTを活用した子どもたちのキャリア意識の向上 ~プロフェッショナルを学校へ~」

報告者:塩田真吾(静岡大学教育学部准教授)・ 高瀬和也(静岡大学大学院教育学研究科1年)

②「ジオパークガイドと連携して開発する伊豆半島

ジオパーク教育プログラム

報告者:山本隆太(静岡大学教職センター特任准

教授)·地域創造学環2年生

参加費:無料参加者数:33人

# ■しずだい飛ぶ教室

# |「フューチャーセッション in 東伊豆」

「しずだい飛ぶ教室」は、地域への大学開放事業の一つとして、静岡大学関係の教職員・学生が、静岡県内の遠隔市町へ出向き、出前講演等を行うものです。今回は、賀茂郡東伊豆町で静大フューチャーセンター(FC)によるフューチャーセッションを開催しました。

・日時:2018年9月8日(土)15:00~17:00

•会場:東伊豆町役場

# 静岡大学公開講座in沼津 「静岡県東部・伊豆の歴史と自然」

静岡県東部・伊豆は、独特の自然・文化・歴史を有する地域です。本講座では、近世東海道の成立を背景に沼津宿の様相を探り、また、伊豆半島の特徴的な植物・植生を探るなど、歴史と自然という2つの側面から東部にアプローチしました。

· 日時: 2018年9月8日(土) 13:10~16:00

• プログラム:

[講座1]「近世東海道と沼津宿」講師:本多隆成(静岡大学名誉教授)

[講座2]「伊豆半島の植物と植生~天城山の自然~」 講師:徳岡 徹(静岡大学理学部准教授)

参加費:無料参加者数:66人

会場:プラサヴェルデ(ふじのくに千本松フォーラム)

· 後援: 静岡県教育委員会 · 沼津市教育委員会

# COC+地域課題解決支援プロジェクト・研究フォーラム 「伊豆半島をフィールドにした学習・交流・協働を考える」

地域の課題を公募し、解決支援を試みる「地域課題解決支援プロジェクト」も6年目に入り、賀茂地区を中心に伊豆での取り組みも進んでいます。2016年度に開設された静岡大学地域創造学環も、松崎町、東伊豆町の地域課題に対応するかたちで学生がフィールドに入っています。また、それに先立つ取り組みとして常葉大学や芝浦工業大学でも松崎町・東伊豆町等で棚田再生や地域の聞き取り、空き家再生等を進めています。本フォーラムでは、伊豆半島で展開する、学生参画の取り組みを報告し合い、解決支援のあり方を考えました。

· 日時: 2018年9月15日(土) 13:00~16:30

### ・プログラム:

[報告1]「フューチャーセンター×地域〜対話と協働の取り組み事例から」報告者:字賀田栄次(静岡大学学生支援センター准教授)、学生ディレクター[報告2]「地域創造学環フィールドワークの取り組み」報告者:静岡大学地域創造学環学生(松崎町商店街、伊豆半島ジオパーク教育班)

[報告3]「域学連携による地域づくり~「ふじとこプロジェクト」の取り組み」報告者:常葉大学プロジェクトリーダー

[報告4]「東伊豆町空き家再生プロジェクトの取り組み」報告者:芝浦工業大学プロジェクト参加学生 「パネル・ディスカッション]

パネリスト:報告者、課題提案者(松崎町、南伊豆 町、東伊豆町)

コーディネーター:阿部耕也(静岡大学地域創造 教育センター教授)

•参加者数:33人

·会場:松崎町·旧依田邸

・主催: 静岡 COC+連携協議会、静岡大学地域創造教育センター、松崎町・南伊豆町

# ┃ しずだい飛ぶ教室 「フューチャーセッションin南伊豆」

2018年度2回目のしずだい飛ぶ教室を賀茂郡南伊豆町で開催しました。南伊豆の地域活性化イベント「トコリンピックin伊浜」に参加したのち、空き店舗を改修した交流スペース「きよりや」にて「フューチャーセッションin南伊豆」を開催しました。静大FCの学生ディレクターがファシリテーターを務め、地域創造学環学生、南伊豆町・松崎町の関係者ならびに伊豆をフィールドとする常葉大学学生らが参加しました。

· 日時: 2018年9月16日(日) 13:00~15:00

・会場:きよりや(賀茂郡南伊豆町)

### 企画協力事業

# 事業参画および講座企画 「吉田町シニアカレッジ」

この事業は町民への新たな知識の習得、仲間づくり、社会活動、シニア世代がいきいきと充実した生活を送ることができる学習機会の提供を目的として、吉田町教育委員会が企画・実施するもので、阿部地域人材育成・プロジェクト部門長が企画段階から参画しています。受講期間は2年間、毎月第2・4水曜日の午

前に一般教養講座、午後にコース別講座を受講します。 2016年11月に第1期生が入学し、2018年11月27日に 初めての卒業式を迎えました。

今年度上半期は、11月1日・2日に実施する日光への修学旅行の事前学習として、「東照宮」をテーマに 静岡大学の教員2名が講義を行いました。

·日時:2018年8月29日、9月12日(水)10:00~12:00

• プログラム:

[8/29 (通算第42回)]「徳川家康の生涯とその神格化」

講師: 貴田 潔 (静岡大学人文社会科学部准教授)

「9/12 (通算第43回)] 「近世の日光|

講師:松本和明(静岡大学人文社会科学部准教授)

•会場:吉田町中央公民館

# 静岡市・大学連携事業 市民大学リレー講座 「災害と向き合う」

この事業は、静岡市内5大学と静岡市が主催して全 5回の講座として実施するもので、このうち第4回を 静岡大学が担当しました。

市内5大学の教授陣が「災害・防災」をテーマに様々な切り口から講義を行いました。

・日時:2018年9月22日(土)~11月17日(土) 10:00~11:45

・プログラム:

①9/22(土)「地球科学的に見たこれから起こる激甚

災害|

講師:原田靖(東海大学海洋学部専任講師)

②10/6(土)「災害と祈り」

講師:古郡康人(静岡英和学院大学人間社会学部教授)

③10/20(土)「生命の源と神の怒り」

講師: 内藤博敬 (静岡県立大学食品栄養科学部助教)

④11/3(土)「大地が伝える津波と地震の記憶~静岡・ 清水平野の津波堆積物調査から~|

講師:北村晃寿(静岡大学理学部・防災総合センター 教授)

⑤11/17(土)「東日本大震災の災害経験から、静岡県としての「防災」を考える|

講師:坪井秀介(常葉大学健康科学部助教)

• 受講料:無料

・会場:アイセル21

・主催:静岡英和学院大学、静岡県立大学、静岡大学、 東海大学、常葉大学、静岡市

#### 市民開放授業

静岡大学市民開放授業は、静岡大学の学生が受講している正規の科目の一部を一般市民の方に開放するものです。単位の認定はありませんが、入試なし、受講資格不要、簡単な手続きで受講できます。正規学生と一緒に受講していただきますので、若い世代の学生と交流を持ちながら学ぶことができます。

2018年度前学期・通年の開講科目数・受講者数の状

況は次のとおりです。

開講科目数			受講者数			
静岡キャンパス	浜松キャンパス	合計	静岡キャンパス	浜松キャンパス	合計	
183	33	216	116	21	137	

3月と9月の年2回、静岡キャンパスおよび浜松キャンパスで事前説明会を開催しています。ご興味・ご関心のある方はぜひご参加ください。

### 2018年度企画実施委員会

当センターには、「企画実施委員会」が組織されています。地域連携・課題解決に関する事項や全学公開講座の企画・立案・実施に関する事項、その他大学開放および地域人材育成に関する事項について検討しています。今年度の委員は以下のとおりです。

丹沢 哲郎 地域創造教育センター長/理事

平岡 義和 地域創造教育センター教授

阿部 耕也 地域創造教育センター教授

皆田 潔 地域創造教育センター准教授

岸本 道明 地域創造教育センター特任教授

笠井 仁 人文社会科学部教授

渋江かさね 教育学部准教授

酒井三四郎 情報学部教授

三重野 哲 創造科学技術大学院教授

戸田三津夫 工学部准教授

水永 博己 農学部教授

水谷 洋一 地域創造学環教授

松尾由希子 教職センター准教授

村本 定則 学務部教育連携室長

# 地域と大学 第37号

発行日——2018年11月30日

発行――静岡大学地域創造教育センター

編集——大谷 悦子

〒422-8529 静岡市駿河区大谷836 (事務局別館2階)

TEL: 054-238-4817 FAX: 054-238-4295

E-mail: kaiho@suml.cii.shizuoka.ac.jp

URL: www.lc.shizuoka.ac.jp/

(事務局) 学務部教育連携室 ☎ 054-238-4055